

令和5年度 第2回 三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会会議録							
開催期日	令和6年1月17日(水) 10時00分						
閉会の日時	令和6年1月17日(水) 11時30分						
開催場所	三郷市役所7階 農業委員会室						
出席状況	委員 10名中8名 事務局 9名 傍聴 0名						
主な議題	(報告事項)令和5年度事業報告について						
	(報告事項)令和6年度事業計画(案)について						
	(報告事項)「日本一の読書のまち三郷推進計画」進捗状況について						
席次番号	委員氏名	摘要	席次番号	委員氏名	摘要		
1	横井直美	出・欠	11		出・欠		
2	田口啓子	出・欠	12		出・欠		
3	山上礼子	出・欠	13		出・欠		
4	神谷真優美	出・欠	14		出・欠		
5	中川進	出・欠	15		出・欠		
6	福田誠治	出・欠	16		出・欠		
7	並木さくら	出・欠	17		出・欠		
8	西春菜子	出・欠	18		出・欠		
9	古賀智子	出・欠	19		出・欠		
10	加藤真理子	出・欠	20		出・欠		
事務局出席者名							
教育長	大塚正樹	生涯学習部 部長	梅澤十三男	生涯学習部 副部長	羽ヶ崎紀子	日本一の読書のまち 推進課長	園田久美子
日本一の読書のまち 推進課企画推進 係長	松島直毅	市立図書館長	木村雅也	早稲田図書館長	三國博子	北部図書館長	染谷篤仁
北部図書館 専門員	牧原祥子						
会議の概要または特記事項							

審議の概要

会議名	令和5年度第2回三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会 開会 司会・進行 染谷北部図書館長
	1. 会長あいさつ 2. 教育長あいさつ 大塚教育長
福田会長	3. 議事（議事進行：福田会長）
事務局	《議題1》令和5年度事業報告について ①中間報告 ・各館事業、3館合同事業、企画推進係の事業の説明、図書館の施設別利用状況、電子図書館統計について （令和5年度図書館事業報告・利用統計 資料1、資料2、資料3参照） ②ふれあいブックワゴン2号車について ・1号車の事業報告。 ・2号車は1月26日の読書フェスティバルで公開予定。 ③高齢者事業について（資料5参照） ・1号車による幼稚園、保育園を対象とした団体貸出、出張おはなし会のサービス、小中学校の授業で使用する資料の団体貸出の配送に続き、高齢者施設、団体を対象とした団体貸出と出張講座サービスを令和5年11月から開始した。今後は2号車で巡回予定。
福田会長	事業報告の内容が充実しており資料がよくまとまっているので、デジタル化し配信したらどうか。その際、参加者の写真は本人が特定できないよう配慮する必要はある。事業開催時にあらかじめ公開の合意を得ておくと良い。
横井委員	子ども司書が12期371名に達したという報告があった。子ども司書養成講座を受講した高校生以上の若者から、同世代の若者に向けて本の良さを発信してもらえたらと思う。 また三郷市の南部には図書館がないので、ふれあいブックワゴンが訪問し、本を届けるのは良い取り組みである。
事務局	《議題2》令和6年度事業計画（案）について（資料4参照） ・図書館関係 ・企画推進係関係
福田会長	読書の多様化が進んでいると感じる。上手にふれあいブックサポーターを育成していくと、サポーター同士で後輩に上手く技術を伝えてくれるかもしれない。
古賀委員	高齢者の健康増進事業や継続的な子ども司書を養成する取り組みはとても良い。 「英語絵本おはなし会」について。日本語を母語としない児童数は年々増加しているなのでこのような活動は重要だと思う。ただ、そのような児童は図書館には足を運ばないので、PRはどのようにするのか。また、企画推進係の「出版社と連携した子育て支援事業」の訪問先として、三郷特別支援学校の小学部も検討してほしい。

事務局	「英語絵本おはなし会」は以前取り組んでおり、コロナを機に休止していた。ホームページに掲載する等、図書館の事業の一環としてPRしていく。
福田会長	外国籍の子どもは言語が理解できないため、不登校になるケースがある。フィンランドでは図書館のゲームコーナーが居場所となっていることがある。図書館が駆け込み寺となっていて、避難所や受け皿のような役割を果たしているのかもしれない。フィンランドではそのような場は「居間」と言われている。
神谷委員	「英語絵本おはなし会」について。前回の会議で復活を要望したところ、早速取り組んでもらえて感謝している。北部図書館での事業開催を計画しているが、子どもの多い中央地区のある市立図書館での開催予定はないか。
事務局	北部図書館の地域性として外国籍の子どもが多いこともあるので実施会場としている。市立図書館での開催は、北部図書館での再開後の実施方法が軌道に乗ってから検討したい。 PR方法として、先程の発言を補足すると、かつては北部図書館の隣の学校にポスター、ちらしの配布も行っていたが、市のホームページへの掲載や商業施設でのポスターの掲示などを考えている。
福田会長	職員が原文で読み聞かせを行ってくれると良い。ボランティアで担ってくれる人がいればお願いするのも良い。生活の中で言葉を使ってみるといのは大事。
田口委員	子ども司書について。受講できる子どもは、毎年定員があったと思うが応募はどのくらいあるのか。定員の上限を超えて受講できなかった子のフォローはあるのか。
事務局	以前は募集の定員はあまり重視せず、多い時は60名の応募があっても受け入れていた。ただ、周囲の勧めで参加した子どもも多く、途中で意欲を失ったり、人数に見合う活動機会を用意できず、子ども司書として活動する機会が少なくなるなど課題も多かった。近年は応募が定員の30名を大幅に超えることはなく、ちょうどよい人数で講座を行っている。 なお、講座修了後に子ども司書として活動する際、活動の場として用意するイベント数に対して、参加の応募数が多く、抽選となる機会が増えてきた。子ども司書の意欲に応えるため、イベントの回数を増やすことが課題となっている。
事務局	《議題3》第2次日本一の読書のまち三郷推進計画進捗状況について（資料7参照） ・令和5年度の読書密度の報告は次回の協議会で行う。 ・ふれあいブックワゴンについて
事務局	《議題4》その他 ・図書館システム更新についての説明（「休館のおしらせ」参照） ・視聴覚教材（16ミリフィルム）について説明（資料6参照）

	<p>福田会長</p> <p>事務局</p>	<p>フィルムは貴重資料ではないのか。</p> <p>廃棄するフィルムは市販のもので、他の媒体で入手可能なもの。三郷市に関するもの等の貴重資料ではない。</p>
	<p>福田会長</p> <p>神谷委員</p>	<p>閉会（閉会の辞：福田会長）</p> <p>任期満了のため挨拶</p>